

別紙1 参加医療施設における本研究実施に関する掲示ポスター

関節リウマチで当院にご通院中の患者さんへ

当院では「生物学的製剤使用関節リウマチ患者の長期安全性研究」を実施しております。この研究は中間法人 日本リウマチ学会が中心となって、生物学的製剤による関節リウマチの治療をより安全に行うために全国規模で行っている多施設共同研究です。これまでに生物学的製剤を治験または市販後にご使用になられた患者さん、今後ご使用になる患者さんに関して、5年間継続して調査します。研究目的・研究内容は以下の通りです。患者さんご自身のこの研究への登録の有・無については主治医にお問い合わせ下さい。

【研究目的】生物学的製剤を使用した（使用中を含む）日本人関節リウマチ患者における悪性腫瘍、特に悪性リンパ腫の発症率を明らかにし、あわせて生存率を調査します。

【研究内容】

1. 研究予定

開始時	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
患者登録・調査	調査	調査	調査	調査	調査

2. この研究で収集するデータ

- | | |
|------------------|------------------------|
| ① 医療機関名、診療科名 | ⑥ 生存・死亡 |
| ② イニシャル（姓・名） | ⑦ 死亡の場合は死因（悪性腫瘍・その他） |
| ③ 性別 | ⑧ 悪性腫瘍の有・無と種類 |
| ④ 生年月日 | ⑨ 関節リウマチに対する生物学的製剤投与状況 |
| ⑤ 生物学的製剤の過去の使用状況 | |
- * ①から④は長期に渡る正確な調査のために収集します
 - * ⑦が有の場合は、診断・治療・経過に関して詳細を調査します
 - * データの収集は主治医が行いますので、患者さんには特別にお願いすることはありません
 - * 製薬企業による生物学的製剤の全例市販後調査に参加された患者さんに関しましては、①から⑤のデータを各製薬企業から取り寄せて本研究に使用いたします

この研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守って実施されます。既に得られたデータおよび通常の診療で今後得られるデータのみを使用する研究ですので、患者さんお一人ずつの直接のご同意は頂かずに、この掲示などによる患者さんへのお知らせをもってこの研究の対象となる患者さんからのご同意を頂いたものとして実施されます。また、研究結果は、個人が特定出来ない形式で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、本研究の目的のために使用されます。患者さんにおかれましては研究の趣旨をご理解いただき、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

長期的なデータを集めることがこの研究ではとても重要ですので、何らかのご事情で当院へのご通院を中止された場合には、主治医または当診療科からあなたの健康状態を確認するために電話・葉書などで連絡を取らせて頂く場合がありますので、その際にはご協力をお願い申し上げます。

万が一、この研究へのご参加をご希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合には、主治医に直接お申し出頂くか、下記の研究本部へご連絡ください。ご希望に合わせて対応いたします。研究に関するご質問は、主治医あるいは下記研究本部がお受けします。

【利益相反について】

本研究は、日本リウマチ学会の資金、東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門の研究費（平成27年度8月以降）および、東京医科歯科大学薬害監視学講座の研究費（平成27年度8月まで）を用いて行われています。リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門は、武田薬品工業株式会社、あゆみ製薬株式会社（旧：参天製薬）からの寄付金により運営されており、薬害監視学講座は、アステラス製薬、アヴィンジャパン、エーザイ株式会社、武田薬品工業株式会社、田辺三菱製薬株式会社、中外製薬株式会社、小野薬品工業株式会社、UCBジャパン、ブリストル・マ

イヤーズ株式会社（ブリストル・マイヤーズ株式会社はH25年度まで）からの寄附金で運営されています。研究の計画・実施にこれらの企業は関与していません。また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って参ります。

※利益相反とは：研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

研究期間： 倫理審査委員会承認後から平成 30 年 3 月 31 日

研究全体の総括責任者（研究本部）：東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター
リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門 特任教授 針谷正祥

＜連絡先＞

あなたがこの試験について知りたいことや、心配なことがありましたら、遠慮なく下記の連絡先またはあなたの主治医にご相談下さい。

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター
リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門

本部責任者の氏名 針谷正祥

電話 03-3353-8112 (34325)

FAX 03-5269-1726

受付時間：月曜から金曜午前 10 時から午後 4 時（土曜・日曜・祝日はお休みです）

Eメールでのお問い合わせ：secure.study.be@twmu.ac.jp

本研究は下記の組織で実施します

【研究総括責任者・研究本部】

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門

特任教授 針谷正祥

住所：〒162-0054 東京都新宿区河田町 10-22

【参加施設】

東京女子医科大学他、のべ 351 施設



別紙 2 参加医療施設における本研究実施に関する配布リーフレット

別紙 1 と同じ内容を B5 版または A4 版で作成する

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、保管された残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 HCV 抗体検査試薬の性能評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部

〔研究責任者〕 中央検査部 運営部長 川島 眞

〔研究の目的〕

現在使用している HCV 抗体検査試薬と他のメーカーの検査法での検査結果の違いがどのように出るか検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

研究承認日から平成 27 年 12 月 31 日の間に HCV 抗体検査を実施された患者さんの残余血清で測定が可能な検体で検査します。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（血清）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、血液検査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*使用する残余血清は患者さんが特定できない状態にしたものを使用しますので、利用しなでほしいという申し出は出来ませんのでご了承ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8111 (38215) FAX 03-5269-7469

平成 27 年 6 月 27 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 成人の内臓錯位症候群患者の臨床像

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴仁三 東京女子医科大学 循環器小児科 准教授・診療部長

【研究の目的】 近年、外科的手術方法の進歩から内臓錯位症候群の長期生存症例が増加しており、当院でも成人になる患者さんが増えてきています。そこで、成人に達した内臓錯位症候群患者さんの生活の質や合併症を調査し、問題点について検証するのが目的です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

内臓錯位症候群の患者さんで、平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に循環器小児科の外来受診をされた方

●利用するカルテ情報

年齢、心疾患診断名、既往手術、SpO2、NYHA、就業・就学の有無、過去 5 年間の心不全入院の有無、不整脈の既往、ペースメーカー留置の有無、全身合併症

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 蘆田温子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 1 日

内分泌科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 遺伝性褐色細胞腫（MEN2・VHL）に対する副腎皮質機能温存を重視した鏡視下副腎部分切除術の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院内分泌外科

【研究責任者】 岡本高宏 東京女子医科大学 内分泌外科 教授

【研究の目的】

遺伝性の副腎褐色細胞腫に対する鏡視下副腎部分切除術の有用性、妥当性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

遺伝性褐色細胞腫の患者さんで、1981 年 1 月 1 日から 2015 年 5 月 31 日の間に手術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、腫瘍部位、画像診断結果、血液・尿検査結果、遺伝子検査結果、術式、手術動画、摘出標本、病理診断、臨床経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院内分泌外科 担当医師 吉田有策

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341

平成 27 年 6 月 29 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 冠血行再建手術を施行したBland-White-Garland症候群の冠血流及び長期予後について

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

【研究の目的】 Bland-White-Garland 症候群(左冠動脈肺動脈起始症)における冠血行再建術前後の冠血流の変化と長期経過を明らかにするため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

Bland-White-Garland 症候群(左冠動脈肺動脈起始症)の手術歴がある患者さんで、昭和 58 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 2 日の間に当院でカテーテルによる冠動脈造影検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学的検査）、手術内容。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 狩野 実希

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 3 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 先天性心疾患患者における脂質代謝異常と心イベントについての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕 血液検査における脂質代謝の指標が心不全や不整脈などの心イベントの発生に関与しているかを検討するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

先天性心疾患の患者さんで、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月 2 日の間、当院入院中に血液検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学的検査）、手術内容。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 狩野 実希

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 3 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 左冠動脈肺動脈起始症術後中長期の心機能について～発症時期による比較検討～

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕 左冠動脈肺動脈起始症の発症時期による冠血行再建術後の心機能や合併症の違いについて比較し、臨床像を明らかにするため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

左冠動脈肺動脈起始症の患者さんで、昭和 57 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 2 日の間に当院で冠血行再建手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学的検査）、手術内容。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 狩野 実希

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 22 日

高血圧・内分泌内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 原発性アルドステロン症診療について（当院で診療した患者に関する後ろ向き観察研究）

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

〔研究責任者〕 高血圧内分泌内科 主任教授 市原淳弘

〔研究の目的〕

本邦における原発性アルドステロン症の診療ガイドラインを検証するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

原発性アルドステロン症あるいは同病の疑いの患者さんで、平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日の間に治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 基本データ（年齢、性別、既往歴、内服薬、血圧、病名）
- ② 診断のために取得された医療記録（外来血液検査結果、入院時負荷検査結果、副腎静脈血サンプリング時の血液検査結果、画像診断結果）、動脈硬化に関する評価
- ③ 治療のために行われた医療記録（手術記録、手術時病理結果）
- ④ 予後判定のために必要な医療記録（術後血圧、内服薬、通院状況、術後の動脈硬化に関する評価

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご理解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

担当医師 安藤 孝

電話 03-3353-8111(内線 39223) FAX 03-5269-7327

平成 27 年 6 月 20 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 内臓錯位症候群における冠動脈

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 循環器小児科 准教授 朴 仁三

【研究の目的】

手術法などの確立により多くの先天的な心臓病の患者さんの救命が可能となり、成人に達する年齢まで元気に過ごされるようになりました。こうしたことにより、小児科に診断されている心臓の病気に加え、成人病を患うようになってきました。心筋梗塞や狭心症といった冠動脈という心臓を栄養する血管が細くなり発症する成人病もその一つです。一方先天的な心疾患では、その冠動脈も解剖学的に正常のものとは違うことが多いことがわかっています。しかし複雑な心臓の病気ではどのような構造をしているかわかっていません。このため検査の結果の評価や、手術の計画が一般の方とは異なる可能性があり、その構造を知ることが大切です。

本研究では、複雑な心臓病を持つ患者様の冠動脈の構造を調べるのが目的です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

循環器小児科でカテーテル検査を受けられ、平成 23 年 1 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日の間に冠動脈の造影検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、手術歴、血管造影検査画像

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 石井徹子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 10 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 乾癬性関節炎における画像評価法の検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

[研究の目的]

乾癬性関節炎の適切な診断・治療のため、画像評価法について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乾癬性関節炎の患者さんで、昭和 60 年 1 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日の間に膠原病リウマチ痛風センターの治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）、治療内容、合併症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

電話 03-5269-1711

担当医師 市川奈緒美

平成 27 年 6 月 24 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]胆道良性疾患に伴う急性胆管炎における THAD、重症度と予後の相関について

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本雅一 消化器外科 主任教授

[研究の目的]

画像上の THAD、胆管炎重症度と予後の相関について検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2010 年 1 月から 2014 年 12 月の 5 年間で胆道良性疾患に伴う急性胆管炎 40 例

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③診断名④治療内容⑤検査結果⑥画像診断結果⑦合併症⑧入院期間

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 岡野美々

電話 03-③353-8111 FAX 03-3353-8111

平成 27 年 6 月 9 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 呼吸器外科手術における肺 3 次元再構築モデルを用いたシミュレーション

【研究機関】 東京女子医科大学病院 呼吸器外科

【研究責任者】 大貫 恭正 東京女子医科大学 第一外科学（呼吸器外科） 教授(主任)

【研究の目的】

当科にて VATS 肺区域・亜区域切除術に際し、胸部 CT 画像から 3 次元肺再構築画像を作成し、術前に手術のシミュレーションをおこなった手術症例の検討をおこないます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 13 年 7 月から平成 26 年 12 月までの間に東京女子医科大学呼吸器外科に原発性肺癌で入院した肺区域切除、肺亜区域切除を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、喫煙歴
- ② 血液学的検査（ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数）、血液生化学的検査（ALP、総ビリルビン、アルブミン、AST、ALT、総蛋白、LDH、クレアチニン、BUN、Na、K、Cl、CRP）、腫瘍マーカー
- ③ 呼吸機能検査：VC(L)、%VC、FVC(L)、%FVC、FEV1.0(L)、FEV1.0%、%FEV1.0、DLCI(mL/min/Torr)、%DLCO
- ④ 胸部レントゲン、胸部 CT、胸部 MRI、PET
- ⑤ 手術時間、麻酔時間、出血量、輸血量、術中使用人工合成材料、血液分画製剤の使用の有無
- ⑥ 手術記録
- ⑦ 病理診断

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科 担当医師 神崎 正人

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成 27 年 7 月 8 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 術中肺気漏に対し、人工合成材料を用いた肺手術症例の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 呼吸器外科

【研究責任者】 大貫 恭正 東京女子医科大学 第一外科学（呼吸器外科） 教授（主任）

【研究の目的】

当科にて術中肺気漏に対し、人工合成材料を用いた肺手術症例を後向きに集計し、人工合成材料の使用方法、ドレーンの留置期間、肺気漏の再発に関し解析します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 13 年 4 月から平成 27 年 3 月までの間に東京女子医科大学呼吸器外科に入院し肺部分切除以上の肺切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 術前患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、喫煙歴
- ② 手術前後の血液学的検査（ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数）、血液生化学的検査（ALP、総ビリルビン、アルブミン、AST、ALT、総蛋白、LDH、クレアチニン、BUN、Na、K、Cl、CRP）、腫瘍マーカー
- ③ 術前呼吸機能検査：VC(L)、%VC、FVC(L)、%FVC、FEV1.0(L)、FEV1.0%、%FEV1.0、DLCO(mL/min/Torr)、%DLCO
- ④ 手術前後の胸部レントゲン、胸部 CT、胸部 MRI、PET
- ⑤ 手術時間、麻酔時間、出血量、輸血量、術中使用人工合成材料、血液分画製剤の使用の有無
- ⑥ 手術記録
- ⑦ 病理診断
- ⑧ 胸膜癒着術の有無、使用胸膜癒着剤、血液凝固因子製剤の使用の有無
- ⑨ 服薬状況の確認
- ⑩ 肺気漏の再発の有無
- ⑪ 有害事象の確認

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除し

ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報はありません。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科 担当医師 神崎 正人

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成 27 年 6 月 19 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

当科における遠隔モニタリングを用いた、植え込み型除細動器(ICD)および除細動器付き心臓再同期療法(CRTD)植え込み患者様における致死性心室性頻拍の発生状況および治療状況の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授・講座主任

[研究の目的] 遠隔モニタリングを用いた、植え込み後の心室性致死性不整脈の発生状況および、抗頻拍ペーシングやショック作動による治療効果を詳細に検討することにより、日常臨床へフィードバックし、治療効果およびQOLの向上を目指します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

ペーシングデバイスの入った患者さんで、2010 年 10 月から 2014 年 12 月までの間に遠隔モニタリングを導入した方

●利用するカルテ情報

心疾患診断名、年齢、心機能、内服薬、デバイスの種類、遠隔モニタリングで通知されるアラートの件数、アラート内容、その内容への対応、アラート発生から対応までの日数について

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

・ 東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 今井美智子

電話 03-3353-8111

FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 10 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 腎移植レシピエントにおける胸腔鏡下手術症例の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院呼吸器外科

〔研究責任者〕 大貫 恭正 呼吸器外科 教授(主任)

〔研究の目的〕

現在、腎移植の成績は安定したものとなっています。しかし、腎移植後の患者さんに呼吸器外科の手術を行う際には、周術機期の腎機能悪化や、易感染性による術後合併症が問題となります。腎移植の既往がある患者さんを対象に、胸腔鏡下手術の術後成績について調査をします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当科に入院歴がある患者さんで、腎移植の既往があり、平成 15 年 1 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日の間に胸腔鏡下手術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、検査結果（血液学的検査、呼吸機能検査）、手術記録、病理診断

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科

電話 03-3353-8111（内線 31125）

担当医師 前田英之

FAX 03-5269-7333

平成 27 年 6 月 1 日

内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 ―いわゆる「悪性甲状腺腫」の臨床病理学的特徴の検討―

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院内分泌外科

〔研究責任者〕 内分泌外科 教授 岡本高宏

〔研究の目的〕

手術後の病理検査で甲状腺良性腫瘍と診断された患者さんで、手術後に転移再発を来した方の臨床病理学的特徴を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1991年から2014年までの間に東京女子医科大学内分泌外科に通院または入院した悪性甲状腺腫の患者。

●利用するカルテ情報

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 腫瘍径
- ④ 血中サイログロブリン抗原（TgAg）および抗体（TgAb）値
- ⑤ 画像検査（甲状腺超音波、CT、シンチグラム）所見
- ⑥ 病理組織学的所見および診断
- ⑦ 臨床経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院内分泌外科 担当医師 櫻井桃子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341

平成 27 年 7 月 1 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 骨髄異形成症候群におけるがん精巢抗原遺伝子群発現の臨床的意義の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 東京女子医科大学血液内科学 教授・講座主任 田中淳司

【研究の目的】骨髄異形成症候群の発症に関与する遺伝子を見つけることを目的とする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当院血液内科に受診歴のある骨髄異形成症候群および悪性リンパ腫の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に「血液疾患の病因、病態の解析」という研究目的での骨髄細胞の保管に同意いただいた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：骨髄（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：以下の内容

- ① 患者基本情報：年齢、性別
- ② 疾患情報：疾患名、手術名、治療内容、入院期間、転帰
- ③ 血液検査結果：血算、血液生化学検査、免疫学的検査
- ④ 骨髄検査：骨髄細胞分画、染色体分析結果
- ⑤ 画像検査所見：CT、MRI、心エコー、単純写真

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科

担当医師 志関雅幸

電話 03-3353-8111（内線 28024）

FAX 03-5269-7329

平成 27 年 5 月 8 日

婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 婦人科開腹手術の周術期における D-dimmer 値の推移

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院婦人科

〔研究責任者〕 松井 英雄 産婦人科 主任教授

〔研究の目的〕

術後の血栓傾向の背景を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当院で婦人科手術をされた患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に婦人科手術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、身長、身体、体重、血液検査結果、術式、出血量、手術時間

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院婦人科 担当医師 金野 潤

電話 03-3353-8111 FAX 03-3686-0337

平成 27 年 7 月 1 日

整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 透析脊椎症の周術期合併症および予後に影響する因子の探索的研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院整形外科

【研究責任者】 加藤義治 整形外科学教室 主任教授

【研究の目的】

血液透析患者に対する脊椎手術は、健常者に対する手術と比較し院内死亡率が高いことが報告されています。本研究の目的は、多施設における血液透析患者に対する脊椎手術の周術期合併症に関するデータを集積し、周術期合併症発生に関する危険因子を探ることです。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

血液透析を受けておられる方で、平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に脊椎手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、寝台所見、検査結果（血液検査、画像検査、感染症関連検査、透析記録、その他合併症に関連する診療録

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院整形外科科 担当医師 加藤 義治

電話 03-3353-8111 FAX 03-3354-7360

平成 27 年 6 月 4 日

内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「甲状腺分化癌術後補助療法としての放射性ヨウ素内用療法（ $30\text{mCi}^{131}\text{I}$ によるアブレーション）についての検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院内分泌外科

【研究責任者】 岡本 高宏 東京女子医科大学 内分泌外科 職名（教授）

【研究の目的】 30mCi のヨード内用療法の治療効果について明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

甲状腺癌のため甲状腺全摘術をうけた患者さんで、平成 21 年 9 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に 30mCi のヨード内用療法によるアブレーションを受けた方

●利用するカルテ情報

- 1 身長
- 2 体重
- 3 生年月日
- 4 手術時年齢
- 5 性別
- 6 術前診断
- 7 術前病期
- 8 手術日
- 9 術式
- 10 腫瘍径
- 11 リンパ節転移巣
- 12 術後病期
- 13 Ex（甲状腺外への癌の浸潤の有無）
- 14 組織診断
- 15 術前血液検査結果
- 16 タイロゲン使用の有無
- 17 ヨード投与量および投与日
- 18 ヨード投与前血液検査結果
- 19 ヨードシンチ結果
- 20 ヨード投与、タイロゲン注射による副作用

- 21 ヨード投与後血液検査結果
- 22 治療後followの10mCiヨード投与結果
- 23 100mCiヨード治療の有無・治療結果
- 24 2015年5月現在の転帰（ヨードシンチ、血液検査、エコー、CTの結果によって判断）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院内分泌外科 担当医師 尾身 葉子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341

平成 27 年 7 月 4 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センター科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] KL-6 の膠原病合併間質性肺炎治療経過をみる代用指標としての有用性についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・教授・山中寿

[研究の目的]

KL-6 の膠原病合併間質性肺炎治療経過をみる代用指標としての有用性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膠原病（関節リウマチ、全身性強皮症、多発筋炎/皮膚筋炎、混合性結合組織病、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、血管炎症候群）の患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に胸部 X 線または CT 検査、および血液中 KL-6 測定を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、肺機能検査、6 分間歩行検査、気管支鏡、生検）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 勝又 康弘

平成 27 年 7 月 4 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センター科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 全身性エリテマトーデス患者における随時尿蛋白/クレアチニン比と推算糸球体濾過量の信頼性についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・教授・山中寿

[研究の目的]

全身性エリテマトーデス患者における随時尿蛋白/クレアチニン比および推算糸球体濾過量の信頼性を検証するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

全身性エリテマトーデスの患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に血液、尿検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、腎生検）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1727

平成 27 年 7 月 6 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センター科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・教授・山中寿

[研究の目的]

高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

高安動脈炎あるいは巨細胞性動脈炎の患者さんで、平成 19 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に新たにステロイド療法が開始された方、または再発例に対して治療強化された方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、生検）、治療経過、有害事象、手術記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1727

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心房中隔欠損症における経カテーテル閉鎖術の安全性および効果に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕 心房中隔欠損症における経カテーテル閉鎖術の安全性および効果を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心房中隔欠損症の患者さんで、平成 10 年 1 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日の間に経カテーテル心房中隔欠損閉鎖術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、生理学的検査）、カテーテル治療内容。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 杉山 央

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 24 日

循環器内科科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 東京女子医科大学病院 循環器内科における末梢血管疾患に関する後方視的研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器科

【研究責任者】 萩原 誠久、循環器内科主任教授

【研究の目的】 末梢血管疾患患者様の疫学調査と予後調査を行い、病態の理解とさらなる予後改善を図ることを目的とする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1990 年 4 月から 2015 年 3 月までの期間に東京女子医科大学循環器内科でカテーテル検査を行った末梢血管症例を対象とする

●利用するカルテ情報

- ①患者背景（年齢、性別、基礎心疾患、合併症、身長、体重）
- ②入院時検査（血液検査、心電図、心臓超音波検査、胸部 X 線、心臓カテーテル検査）
- ③入院時処置（薬物・不整脈デバイスの有無、カテーテル治療の有無と内容）
- ④退院後の薬物治療
- ⑤死亡と再入院の有無、カテーテル治療の有無、心臓手術の有無、心臓関連入院の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器科 担当医師 嵐 弘之

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 24 日

循環器内科科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 東京女子医科大学病院 循環器内科における冠動脈疾患患者に関する後方視的研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器科

【研究責任者】 萩原 誠久、循環器内科主任教授

【研究の目的】 虚血性心疾患患者様の疫学調査と予後調査を行い、病態の理解とさらなる予後改善を図ることを目的とする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1990 年 4 月から 2015 年 3 月までの期間に東京女子医科大学循環器内科でカテーテル検査を行った症例を対象とする

●利用するカルテ情報

- ①患者背景（年齢、性別、基礎心疾患、合併症、身長、体重）
- ②入院時検査（血液検査、心電図、心臓超音波検査、胸部 X 線、心臓カテーテル検査）
- ③入院時処置（薬物・不整脈デバイスの有無、カテーテル治療の有無と内容）
- ④退院後の薬物治療
- ⑤死亡と再入院の有無、カテーテル治療の有無、心臓手術の有無、心臓関連入院の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器科 担当医師 嵐 弘之

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 24 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 日本人痛風の実態についての研究

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

[研究の目的]

日本人痛風の臨床像を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

痛風の患者さんで、2007 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に膠原病リウマチ痛風センターの治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴、既往歴、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）、治療内容、合併症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 谷口 敦夫

電話 03-5269-1711

平成 27 年 7 月 28 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 聴神経腫瘍における低線量ガンマナイフ治療後の聴力温存

【研究機関】 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 東京女子医科大学 脳神経外科 助教 堀場綾子

【研究の目的】

聴神経鞘腫におけるガンマナイフ治療成績を評価するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

聴神経腫瘍の患者さんで、平成 17 年 1 月 1 日から平成 22 年 9 月 1 日の間にガンマナイフ治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢・性別・治療前後の聴力検査結果

ガンマナイフ治療における治療線量や周囲重要構造物への照射線量

腫瘍体積・経時的なMRI所見の変化

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 堀場綾子

電話 0333538111

FAX 0333416878

平成 27 年 7 月 25 日

泌尿器科、小児科、腎臓外科に通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 形質細胞浸潤型拒絶反応の臨床組織学的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院泌尿器科

[研究責任者] 田邊一成，泌尿器科，主任教授

[研究の目的]

腎移植患者における形質細胞浸潤型拒絶反応の症例を中心に、その原因と治療法を検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1986 年 1 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日までに腎移植あるいは脾・腎移植を施行された患者さんで、腎生検で形質細胞浸潤型拒絶反応との診断を受けた方の中で、検体の保管の同意を頂いた方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：腎病理（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査，尿検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 長谷川 純平

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院へ通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] HISCL-5000 におけるトロンビンアンチトロンビン複合体測定の基礎的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院中央検査部 検体検査室

[研究責任者] 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

[研究の目的]

医師から依頼されたトロンビンアンチトロンビン複合体（TAT）の測定後の残った検体を使用し、分析機器 HISCL-5000 とトロンビンアンチトロンビン複合体試薬にて測定を行い、現在使用している機器・試薬と同等の結果が出るか検討します。本研究はシスメックス株式会社との受託研究にて行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

TAT の測定後、倫理委員会承認後から平成 27 年 12 月 31 日の間に検体の残余量のある患者さんの検体

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名

③血液検査結果：TAT

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、測定依頼があった TAT 測定後、どなたの検体か判らないようにした残余検体を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112 （内線 38215） FAX 03-5269-7469

平成 27 年 6 月 1 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、臨床検査後の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 メトトレキサート測定試薬 2 法の性能評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 中央検査部 運営部長 川島 眞

【研究の目的】

血中メトトレキサート濃度測定試薬が新たに開発されたため、従来試薬との相関性を含めた性能を評価します。

この研究は、アボットジャパン株式会社、積水メディカル株式会社からの受託研究で行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

血中メトトレキサート濃度測定の依頼のあった患者さんで、平成 25 年 5 月 15 日から平成 27 年 4 月 24 日の間に測定され、残余となった血液

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：血中メトトレキサート濃度

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 管理機構室

担当 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112（内線 38215）

FAX 38216

平成 27 年 7 月 5 日

東京女子医科大学東医療センター救急医療科に通院中
(または過去に入院されたことのある) の患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 敗血症性 DIC に対するリコンビナントトロンボモジュリンの治療効果

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

[研究責任者] 東京女子医科大学東医療センター 救急医療科 教授 磯谷栄二

[研究の目的]

敗血症性 DIC (Disseminated intravascular coagulation; 播種性血管内凝固症候群)
に対するリコンビナントトロンボモジュリンの治療効果を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

重症敗血症の患者さんで、平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に DIC の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査結果、DIC の改善率、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

担当医師 高橋宏之

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6319

平成 27 年 6 月 23 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 特発性膜性腎症の初期治療における腎予後の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院腎臓内科

〔研究責任者〕 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科主任教授

〔研究の目的〕

腎臓の組織の検査の結果、膜性腎症と診断された患者さんの中で、診断された半年以内にステロイドによる治療を受けた方と受けなかった方で腎臓の機能の低下や尿蛋白の改善の違いがあるか調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1993 年から 2013 年までの間に、当施設において腎生検で膜性腎症と診断された方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（糖尿病、高血圧、悪性腫瘍など過去にかかった病気）、家族歴、検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過、再発の有無、最終的に透析や死亡となったか否か。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科

担当医師 佐藤尚代

電話 03-3353-8111

FAX 03-3356-0293

平成 27 年 7 月 2 日

東医療センター 内科・産婦人科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 妊娠糖尿病患者におけるインスリン治療の予測因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター

[研究責任者] 内潟 安子 東京女子医科大学 糖尿病センター 主任教授

[研究の目的]

妊娠糖尿病の患者さんでインスリン療法が必要な方を早期に的確に判断するための一助として、インスリン療法の予測因子を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

妊娠糖尿病の患者さんとそのお子さんで、平成 24 年 2 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 年齢、糖尿病家族歴、既往歴、妊娠・分娩歴、喫煙歴
- ② 妊娠糖尿病診断週数、50 g GCT、OGTT の結果
- ③ 身長、妊娠前体重・BMI、妊娠中の体重増加
- ④ 治療方法
- ⑤ 食事負荷試験の結果
- ⑥ 血糖値、HbA1c 値、グリコアルブミン、インスリン値、CPR 値
- ⑦ 尿定性、尿中アルブミン値
- ⑧ 血糖自己測定値
- ⑨ 分娩週数、分娩方法、出生時児体重・分類、胎盤重量、胎盤所見
- ⑩ 母体合併症、母体糖尿病合併症、周産期合併症、胎児・新生児合併症 (NICU 入院含む)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病センター

担当医師 柳沢慶香

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 27 年 7 月 7 日

看護師のみなさまへ

この度、下記の臨床研究を行いました。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 東京女子医科大学病院における専門看護師の活用およびニーズ
に関する実態調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院

【研究責任者】 看護部 看護部長 坂本倫美

【研究の目的】 当施設における専門看護師に対する看護師の活用状況やニーズを把握し、今後の専門看護師活動のあり方を検討するため

【研究の方法】

●対象

- ① 東京女子医科大学病院に在職する 1200 名の看護師のうち、無作為抽出した 300 名のうち、本調査に協力が得られた者（ただし、診療支援部門は除外）
- ② すべての看護管理職のうち本調査に協力が得られた者
- ③ すべてのエキスパートナース、認定看護師のうち本調査に協力が得られた者

●利用する情報

「当施設における専門看護師に対する認知と期待」アンケート結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院看護部 担当 山崎千草

電話 03-3353-8111（代表）

平成 27 年 7 月 27 日

高血圧・内分泌内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の

患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 副腎静脈サンプリング検査の成功率に寄与する因子の探索

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科、高血圧・内分泌内科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任

【研究の目的】 原発性アルドステロン症患者に対する副腎静脈サンプリング検査の手法による成功率の差と、その結果による臨床的意義について検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

原発性アルドステロン症（もしくはその疑い）の患者さんで、平成 18 年 6 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に副腎静脈サンプリング検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査、副腎静脈サンプリングの手法・採血値、病理所見）、臨床経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 森田 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 27 年 6 月 26 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 単心室循環症候群の予後に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三、循環器小児科、准教授

【研究の目的】

単心室循環症候群の病態把握、自然歴の把握、非自然歴の把握、予後に関するデータの集積を多施設共同で行います。本研究では、我が国全体での単心室循環症候群、およびそれを構成する疾患の重症度による最適な治療管理方法を研究するもので、予後の改善に役立てたいと考えております。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 27 年 3 月 31 日までに外来受診を受けた単心室循環症候群の患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴の有無、合併症、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓カテーテル検査）、治療内容、手術歴、重症度（NYHA分類）、チアノーゼ残存、出産履歴、回数、分娩の異常、生産時の先天異常

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朴 仁三

電話 03-3353-8112 内線 23111 FAX 03-3352-3088

平成 27 年 6 月 26 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 単心室循環症候群の治療管理の質を高めるための研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三、循環器小児科、准教授

[研究の目的]

単心室循環症候群の病態把握、自然歴の把握、非自然歴の把握、予後に関するデータの集積を多施設共同で行います。本研究では、我が国全体での単心室循環症候群、およびそれを構成する疾患の重症度による最適な治療管理方法を研究するもので、予後の改善に役立てたいと考えております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 27 年 3 月 31 日までに外来受診を受けた単心室循環症候群の患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴の有無、合併症、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓カテーテル検査）、治療内容、手術歴、重症度（NYHA分類）、チアノーゼ残存、出産履歴、回数、分娩の異常、生産時の先天異常

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 朴 仁三

電話 03-3353-8112 内線 23111

FAX 03-3352-3088

平成 27 年 8 月 2 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「腎移植患者の前立腺癌に対し施行したロボット支援前立腺全摘の検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院泌尿器科

[研究責任者] 主任教授 田邊 一成

[研究の目的]

腎移植後に発生した前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘の有効性を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

腎移植後の患者さんで、平成 17 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に前立腺癌の診断を得てロボット支援前立腺全摘術を施行した方。

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）

②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果、投与薬剤、薬剤による有害事象

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 飯塚 淳平

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 6 月 22 日

消化器病センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「高度の萎縮性胃炎に発生した未分化型早期胃癌の臨床的検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院 消化器病センター

[研究責任者] 中村真一 東京女子医科大学 消化器内視鏡科 教授

[研究の目的]

我々の施設で診断、治療を行った Stage IA 未分化型癌を背景胃粘膜の萎縮の程度別の比較や Stage IA 分化型胃癌との比較を行い、高度萎縮性胃炎に発生した未分化型癌の特徴を検討したので報告する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

早期胃癌の患者さんで、平成 15 年 4 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日の間に切除術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、治療法、切除標本病理組織学的検査から、占拠部位、肉眼型、大きさ、組織型、深達度、病巣内潰瘍（UL）の有無、脈管侵襲の有無を、術前の内視鏡所見から、「京都分類」を用いた胃癌リスクの内視鏡所見スコアと、主病変の色調を赤色調と褪色調に分類し検討した。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内視鏡科

担当医師 岸野真衣子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 8 月 3 日

麻酔科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] パルスオキシメータ（Radical-7）による光学的ヘモグロビン
値測定の有用性評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院麻酔科

[研究責任者] 尾崎 眞 麻酔科学教室 主任教授

[研究の目的]

手術中の非侵襲的な貧血の検査の有用性を検討するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2014 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日の間に麻酔科管理のもと、手術を受けた方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、血液型、手術科名、麻酔科的风险分類、検査結果（血液検査）、パルスオキシメータによる測定結果、麻酔記録、輸血量

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科

担当医師 糟谷 祐輔

電話 03-3353-8111

平成 27 年 7 月 13 日

救急医療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 院外心停止患者の搬入時 EtCO₂ と蘇生率との関与
－初期波形ごとの解析－

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター救急医療科

【研究責任者】 磯谷栄二 救急医療科 教授

【研究の目的】

呼気中二酸化炭素（EtCO₂）と救急隊接触時の波形を用いて、院外心肺停止患者の自己心拍再開の関与があるかを検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2014年2月～2015年5月の間に心原性・非心原性を問わず当院に心肺停止として搬送された患者で初療の段階で挿管された方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、救急隊接触時の波形、挿管時呼気中二酸化炭素（EtCO₂）値。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター救急医療科

担当 安藤大吾

電話 03-3810-111 FAX 03-5855-6319

平成 27 年 6 月 23 日

東医療センターにて上腹部 MRI 検査を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 上腹部 MRI 検査における鉄沈着の基礎的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター放射線科

[研究責任者] 上野 恵子 教授、東医療センター放射線科

[研究の目的]

MRI 検査による臓器への鉄沈着評価の有用性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に上腹部 MRI 検査をうけた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、画像診断結果、MRI 画像

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当医師 上野 恵子

電話 ; 03-3010-1111 FAX ; 03-3984-0282

平成 27 年 8 月 3 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] アミオダロンを投与した重症心不全患者の予後および心機能等に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 萩原 誠久 循環器内科 教授

[研究の目的]

アミオダロン投与による治療を受けた重症心不全の患者様について、背景因子、予後、心機能や身体機能、バイオマーカー等の推移を調査する研究です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1987 年 2 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に

当院でアミオダロン投与が開始され、治療・観察を受けた重症心不全患者様

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、血圧、心拍数、体表面積、体格指数、基礎疾患、喫煙歴、合併症、入院歴、心疾患治療歴、循環器薬使用状況、採血結果、心機能、6 分間歩行距離、最大酸素摂取量、睡眠時無呼吸症候群検査結果、死亡の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科

電話 03-3353-8111

担当医師 志賀 剛

FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 10 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「腎部分切除後の無症候性仮性動脈瘤発生予測因子の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 主任教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

腎部分切除において術後早期の CT にて無症候性未破裂仮性動脈瘤のスクリーニングを行い、その予測因子を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に腎部分切除術を受けられ、術後 3, 4 日目の早期に造影 CT を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィー）

②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成27年8月6日

救急医療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 敗血症 DIC（播種性血管内凝固）症例に対するリコンビナントトロンボモジュリン使用後の出血症例の特徴

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター 救急医療科 教授 磯谷栄二

【研究の目的】

敗血症性 DIC 治療薬であるリコンビナントトロンボモジュリン使用後の出血症例の実態を把握するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

敗血症性 DIC の患者さんで、2012 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の間にリコンビナントトロンボモジュリンによる治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査結果、予後

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

担当医師 高橋宏之

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6319

平成 27 年 8 月 3 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 神経膠腫疑いに対するメチオニン PET の有用性

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

〔研究の目的〕 神経膠腫の手術適応の可否と手術時期の判断根拠としてのメチオニン-PET 検査の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

神経膠腫疑いの患者さんで、平成 16 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8112(66003) FAX 03-5312-1844

平成 27 年 7 月 24 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センター科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 多発筋炎・皮膚筋炎の予後予測因子・治療効果指標についての後ろ向き検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・教授・山中寿

[研究の目的]

多発筋炎・皮膚筋炎の予後予測因子・治療効果指標について検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

多発筋炎/皮膚筋炎の患者さんで、治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、肺機能検査、6 分間歩行検査、気管支鏡、生検）、治療内容、予後・転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1727

平成 27 年 8 月 1 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児神経疾患における神経画像の後方視的研究

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

[研究責任者] 高梨 潤一 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 教授

[研究の目的] 小児神経疾患における神経画像を解析し、早期診断、病態解明よりよい治療法を見つけ出すことです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学八千代医療センター小児科で神経画像（CT, MR, SPECT など）を
施行された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、家族歴、既往歴、前投薬、診断名、臨床情報、治療内容、検査結果、脳波
結果、予後

[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科 担当医師 高梨潤一

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院へ通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、生化学検査の測定した後の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

- [研究課題名] 膵疾患の診断に用いられる検査項目（リパーゼ）の有用性の比較検討
[研究機関] 東京女子医科大学病院中央検査部 検体検査室
[研究責任者] 東京女子医科大学病院中央検査部 臨床検査科 教授 佐藤 麻子
[研究の目的] 医師から依頼された生化学検査の測定後の残った検体を使って、新しく開発されたリパーゼ試薬を使って測定を行い、現在使用している試薬と同等の結果が出るか検討します。
この研究は、株式会社ソテクトの受託研究として行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さんの検体

生化学検査の測定後、倫理委員会承認後から平成 28 年 6 月 30 日の間に検体の残余量のある患者さんの検体

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、尿、その他の体液

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名

③血液検査結果：LIP、AMY、P-AMY、T-CHO、TG、HDL、LDL、NEFA、血清 CRP、
肝機能、腎機能、電解質

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部

技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8112 内線 38215)

FAX 03-5269-7469

平成 27 年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療・治療のために採血し、使用した後に残った破棄する予定の血液を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] LDL コレステロール直接測定法と Friedewald 式値の乖離についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 臨床検査科

[研究責任者] 佐藤麻子 臨床検査科 教授

[研究の目的]

動脈硬化性疾患の危険因子である LDL コレステロール値について、直接に測定して得られた値と、総コレステロール、中性脂肪、HDL コレステロールの値を用いて計算して得られた値とを比較検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院で診療を受け、平成○年○月○日から平成○年○月○日の間に
静脈血生化学検査を提出された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：残余血液（診察・治療のための検査を行ったあとに残った血液）

カルテ情報：年齢、性別、診断名。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 臨床検査科 担当医師 菅野宙子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 27 年 8 月 2 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肝転移を有する腎癌に対して、分子標的薬による最大腫瘍縮小率は予後予測の評価として有用か？

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科主任教授 田邊一成

【研究の目的】

腎癌肝転移を有する患者さんの予後予測に対する、分子標的薬治療開始後の最大腫瘍縮小率の有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎癌肝転移の患者さんで、平成 20 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 1 日の間に分子標的薬の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

分子標的薬治療開始時の年齢、性別、腎癌の病理型、MSKCC risk(転移性腎細胞癌の予後予測に用いられる)、腎摘手術の有無、分子標的薬治療の種類、肝転移巣の数、肝転移以外の転移巣の有無、最大腫瘍縮小率、全生存期間(分子標的薬治療開始から死亡するまでの期間)、無増悪期間(分子標的薬治療開始から腫瘍増悪までの期間)など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜

電話 080-1965-4208 FAX 03-5269-7321

平成 27 年 8 月 3 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 神経膠腫を対象とする脳機能検査とQOLおよび術後変化との関連についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

【研究の目的】神経膠腫に関する脳機能と患者の QOL や術後の変化（神経学的合併症）がどのように関連しているかを調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

神経膠腫の確定診断がついた患者さんで、平成 12 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期、QOL に関する情報

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8112(66003) FAX 03-5312-1844

平成 27 年 8 月 3 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 神経腫瘍に関する各種因子と予後に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院脳神経外科

[研究責任者] 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

[研究の目的] 神経腫瘍に関する各種因子（年齢、腫瘍の種類、グレード、摘出率など）と予後（再発の有無や生存期間など）がどのように関連しているかを調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

神経腫瘍の確定診断がついた患者さんで、平成 12 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8112(66003) FAX 03-5312-1844

新生児臨床研究ネットワーク

Neonatal Research Network



早産児における左房容積および動脈管開存症評価 PLASE Studyへのご理解とご協力について

未熟児動脈管開存症は早産児の重大な合併症で、死亡、重症頭蓋内出血、慢性肺疾患、壊死性腸炎などがおきてしまう原因のひとつと考えられています。未熟児動脈管開存症の適切な管理は早産児が元気に退院するための重要な課題ですが、未だにどのような管理方法がよいかはわかっておりません。

現在、新生児臨床研究ネットワークでは、在胎23週～29週で出生した早産児が元気に退院するための管理基準を作成するために多施設共同研究事業を実施しています。

通常の診療する範囲内で、血液検査や心臓超音波検査の結果、お子さまの状態を定期的に記録して、研究に活用させていただきます。これらの結果はすべて匿名化した上で解析しますので、個人情報が流出する可能性はございません。

研究を実施するためには、できるだけ多くの記録が必要となりますので、多くの皆様のご理解とご協力をお願いしております。

なお、研究への参加を希望されないご家族の方は主治医にお話し下さい。ご協力いただけなくても、診断や治療、対処などにまったく影響はありませんのでご安心下さい。

みんなの
元気に



研究に関する詳細・お問い合わせ
<http://nm.shiga-med.ac.jp/plase/index.html>

平成 27 年 8 月 19 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「胸膜癒着術後の気胸手術症例の検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院第一外科

【研究責任者】 大貫恭正 東京女子医科大学 第一外科学 （教授）

【研究の目的】

胸膜癒着術施行後に手術を施行した気胸症例について、治療方法の有効性の検討

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 22 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に気胸に対して外科的治療を施行した患者さん

●利用するカルテ情報

- ①性別、年齢、身体所見
- ②最終病理組織診断
- ③画像所見(CT PET XP)
- ④既往歴
- ⑤術前の Performance Status
- ⑥再発期間
- ⑦手術時の年齢
- ⑧手術日（西暦 年 月 日）： 例 2001/1/15
- ⑨手術アプローチ
- ⑩手術術式
- ⑪切除個数
- ⑫手術中出血
- ⑬手術時間
- ⑭輸血の有無
- ⑮血漿分画製剤の使用の有無
- ⑯止血剤の使用の有無
- ⑰ドレーン留置期間
- ⑱入院期間
- ⑲術後合併症

②術後合併症の内容

③血液検査所見 WBC Hb HT PLT AST ALT LDH Cr BUN CRP KL6 SPD SPA β D-グルカン
腫瘍マーカー (CEA CA15-3)

②術後経過 (治療内容)

③術前治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 井坂珠子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成 27 年 8 月 13 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 薬剤関連性顎骨壊死の治療に関する臨床的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

[研究責任者] 安藤智博 歯科口腔外科 教授

[研究の目的]

* 当科における薬剤関連性顎骨壊死（骨粗鬆症の予防や、悪性腫瘍の骨病変に対して使用する骨吸収抑制薬の副作用）症例の現状と治療法及びその転帰、特に外科療法とその効果について再考し、よりよい治療法の選択を考察することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

薬剤関連性顎骨壊死の患者さんで、2007 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、初診年、受診経緯、原因薬剤、原疾患、リスク因子（糖尿病、免疫抑制剤の使用、血液透析など）、薬剤投与経路、発症経緯、発生部位、臨床症状（骨露出、感染、疼痛、神経麻痺の有無）、X線写真所見、外科療法の有無、外科療法の詳細、外科療法の効果、転帰、その他

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 片岡利之

電話 03-3353-8111 (ext. 38741) FAX 03-5269-2367

「後ろ向き観察研究」用 情報公開用文書

平成 27 年 8 月 19 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 房室錯位に合併した副伝導路関連の上室性頻拍に対するカテーテルアブレーション術の効果に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

【研究の目的】 房室錯位に合併した副伝導路関連の上室性頻拍に対するカテーテルアブレーション術の成績を調査する事。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1992 年 7 月から 2015 年 5 月の期間に、房室錯位を伴う複雑心奇形を有し、かつ副伝導路関連の発作性上室性頻拍の有する症例で、カテーテルアブレーション治療を受けた方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、手術歴、不整脈の既往、手術時年齢、心電図所見、電気生理学的検査所見、アブレーション治療内容と結果、予後合併症の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 竹内 大二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

「後ろ向き観察研究」用 情報公開用文書

平成 27 年 8 月 19 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 Fontan 術後の心内血栓スクリーニングにおける D-dimer 値測定の有用性に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

【研究の目的】 Fontan 術後の心内血栓のスクリーニングに関する D-dimer 値測定の有用性を検討すること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

先天性心疾患に対する Fontan 術の患者さんで、2005 年 11 月から 2015 年 5 月までの間に東京女子医科大学循環器小児科に入院し経食道エコー、胸部造影 CT もしくは心臓 MRI を用いて心内血栓の有無についての検査を受け、かつ、血液検査で D-dimer 値を含む血液凝固・線溶系マーカーを測定した方。

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、Fontan 術式、入院までの経過、手術年齢、経食道エコー結果、胸部造影 CT 結果、心臓 MRI 結果などの画像検査結果、D-dimer を含む血液検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 竹内 大二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 3 日

八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科に通院中（または過去に通院・
入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

頸動脈プラークを認めた糖尿病患者に対する、一次予防としての抗血小板薬使用の有用性について

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝科

〔研究責任者〕

橋本 尚武 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科 教授

〔研究の目的〕

抗血小板薬が脳梗塞や心筋梗塞の予防に有効かを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

糖尿病の患者さんで、2007 年 1 月から 2012 年末までに頸動脈エコーを施行し、プラークを認めた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、家族歴、内服状況、糖尿病合併症の状況、喫煙の有無
検査結果（血液検査、尿検査、頸動脈エコー所見）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科 担当医師 福島清香
電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 27 年 8 月 20 日

東京女子医科大学病院に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病合併双胎妊娠における糖尿病網膜症の検討

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター

[研究責任者] 内潟 安子 東京女子医科大学 糖尿病センター 教授

[研究の目的]

糖尿病合併双胎妊娠と単胎妊娠における妊娠中の網膜症悪化の頻度を比較し、双胎妊娠が網膜症悪化の原因となるか検討する。さらに、双胎妊娠における網膜症悪化の臨床的リスク因子を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1977年から2010年までの間に東京女子医科大学病院に通院または入院した糖尿病合併妊婦さんとそのお子さん。

●利用するカルテ情報

- ① 分娩年齢、糖尿病家族歴、既往歴、妊娠・分娩歴
- ② 糖尿病のタイプ、糖尿病発症年齢、分娩までの罹病期間
- ③ 身長、妊娠前体重・BMI、妊娠中の体重増加
- ④ 治療方法（妊娠前、妊娠中）
- ⑤ 計画妊娠の有無
- ⑥ 血糖値、HbA1c値、グリコアルブミン、インスリン値、CPR値
- ⑦ 尿定性、尿中アルブミン値
- ⑧ 血糖自己測定値
- ⑨ 分娩週数、分娩方法、出生時児体重・分類、児の性別、胎盤重量、胎盤所見
- ⑩ 母体合併症、母体糖尿病合併症、周産期合併症、胎児・新生児合併症（NICU入院含む）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病センター 担当医師 柳沢慶香

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 27 年 6 月 15 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療
で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関する
お問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会くださ
い。

[研究課題名] カテーテル検査を行った透析症例の予後に関する後ろ向き
研究後向き研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 萩原誠久 循環器内科 主任教授

[研究の目的]

当科でカテーテル検査を行った透析症例をカルテベースで後ろ向き解析を行
い、疫学調査と予後調査を行い、病態の理解とさらなる予後改善を図ること
を目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1999年2月から2015年3月までの期間に東京女子医科大学循環器内科でカテーテル検査を行った透析症例を対象とする

●利用するカルテ情報

- ①患者背景；年齢、性別、合併症、身長、体重
- ②既往歴；基礎腎疾患
- ③生理・画像検査データ；心電図、胸部レントゲン、心エコー、心筋シンチ、生化学(ビリルビン、AST、ALT、LD、クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、カルシウム、リン、尿酸、PTH)、血算(白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット)、ANP、BNP、NT-proBNP、ホルター心電図、LP、冠動脈病変の有無、右心カテーテル検査、左室造影
- ④治療歴(透析歴、 β 遮断薬、ACEI/ARB、Ca拮抗薬、 α 遮断薬、利尿剤、抗不整脈薬、スタチンの有無)
- ⑤経過・転帰(心機能の経過、カテーテル治療の有無、心臓手術の有無、心臓関連入院の有無、死亡の有無)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報
情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、
その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 芹澤直紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 8 月 20 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ANCA関連腎炎における病理学的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作 東京女子医科大学 第四内科 教授

【研究の目的】

ANCA 関連腎炎において免疫グロブリン沈着の意義を解明すること

ANCA 関連腎炎の国際分類と予後との関連を明らかにすること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

ANCA 関連腎炎の患者さんで、1996 年 1 月から 2015 年 3 月の間に当科にて腎生検を施行された方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、免疫学的検査、腎生検報告書）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 板橋美津世

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

呼吸器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 進行性非小細胞性肺癌における治療パターン、医療資源利用状況、及びバイオマーカー検査に関する国際共同臨床研究

【研究機関】 東京女子医科大学附属八千代医療センター 呼吸器内科

【研究責任者】 桂 秀樹 ・ 呼吸器内科 ・ 教授

【研究の目的】 この研究では、肺がん患者さんの治療内容、病気による入院や通院の負担の現状、検査の実施状況や検査結果の活用状況などについて調べ、将来に向けてより良い治療を提供していくための検討をおこなうことを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

ステージⅢB またはⅣ期と診断された非小細胞性肺がんの患者さんで、平成 23 年 1 月 1 日から平成 25 年 7 月 1 日の間にがんの診断および初めての治療（抗がん剤を用いた治療）を受けた方

●利用するカルテ情報

生年月、性別、喫煙歴、身長、体重、がんの診断日、病状、治療歴、使用したお薬の内容、副作用、入院・通院状況、バイオマーカー検査（人のからだを客観的に測定・評価するための検査）に関する情報、生検（からだの組織の一部を切り取り顕微鏡などで調べる検査）に関する情報、画像検査（X線、CT、MRIなど）に関する情報

【共同研究機関】 Merck Sharp and Dohme, Corp.、MSD 株式会社、群馬県立がんセンター、一般財団法人慈山会医学研究所付属 坪井病院、KKR 札幌医療センター、地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター

【研究資金提供者】 MSD 株式会社

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター 呼吸器内科

担当医師 桂 秀樹

電話 047-450-6000（代表） FAX 047-458-7047

平成27年7月21日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 維持透析患者に発生した下大静脈腫瘍栓を伴う腎細胞癌に対する外科的治療、当施設における5症例の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 田邊一成 泌尿器科 教授

【研究の目的】

維持透析患者における周術期合併法のリスクを検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1985年4月から2015年3月までの間に東京女子医科大学泌尿器科に入院し下大静脈腫瘍栓を伴う腎細胞癌に対して手術を施行された患者。

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③手術所見(術式、出血量など)④病理所見(組織型、病期など)⑤CT画像所見
⑥採血データ(血算、生化学、凝固系など)⑦臨床経過(臨床症状、追加治療の有無)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 橘秀和

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 SPECT/CT 画像を用いた MIRD 法による吸収線量算出法-I-131 アブレーション治療に関する検討ー

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

【研究責任者】 阿部 光一郎 画像診断・核医学科 教授

【研究の目的】 I-131 アブレーション治療時の SPECT/CT 画像から、残存甲状腺や残存病変の放射能の量（吸収線量）を推定し、治療効果との相関を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

甲状腺全摘後、アブレーション治療を受けた患者さんで、2014 年 6 月から 2015 年 7 月の間に I-131 SPECT/CT 検査を施行された方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 阿部光一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 27 年 8 月 18 日

東京女子医科大学東医療センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査後に残った血液(血清)検体を使用して行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 『LaboFLEX2600』 における血清残量の信頼性を高めるための
仕様の構築と検証

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター 検査科

[研究責任者] 加藤 博之 東京女子医科大学東医療センター 検査科 教授

[研究の目的] 検査精度の向上と業務改善

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学東医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんで、御自身の疾病の診断・治療等に必要な検査等のために血液を採取された方において、残余血液(血清)のある方。

●利用する検体および検査結果

検体：血液(検査終了後の残余血液)

検査結果：血液検査ヘマトクリット値を使用します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体および検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター 検査科検体検査室 担当 野田雪江

電話 03-3810-1112 (内線 3052)

平成27年7月21日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心大血管術後の肺癌手術症例の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院呼吸器外科

〔研究責任者〕 大貫 恭正 呼吸器外科 教授

〔研究の目的〕

現在、心大血管手術の長期成績は安定したものとなっています。しかし、心大血管術後の患者さんに呼吸器外科の手術を行う際には、癒着による術中合併症、抗血小板薬・抗凝固薬による出血や周術期の使用中止に伴う血栓症、周術期の循環器系合併症のリスクが問題となります。心大血管手術の既往がある患者さんを対象に、原発性肺癌に対する手術の術後成績について調査をします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当科に入院歴がある患者さんで、心大血管手術の既往があり、平成15年1月1日から平成26年12月31日の間に原発性肺癌に対して手術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、検査結果（血液学的検査、呼吸機能検査、画像検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査）、手術記録、病理診断

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科

担当医師 前田 英之

電話 03-3353-8111 (内線 31125) FAX 03-5269-7333

平成 27 年 9 月 4 日

看護専門領域スキルアップセミナーのうちリエゾンナースがおこなった研修 に参加された看護師の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研修終了後に記載していただいたアンケートをまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] リエゾンナースによる院内研修における受講生の学び

[研究機関] 東京女子医科大学看護学部

[研究責任者] 田中美恵子 東京女子医科大学看護学部 教授

[研究の目的] リエゾンナースが行った研修の評価を行い、今後の課題を明らかにし、研修の充実を図るため

[研究の方法]

●対象となる方

看護専門領域スキルアップセミナーのうち、平成 23 年度から平成 26 年度にリエゾンナースが行った以下の研修に参加し、アンケートに記載された看護師

平成 23 年度：「明日につながる！せん妄ケアⅠ」「明日につながる！せん妄ケアⅡ」「対応が難しい患者のこころの理解」

平成 24 年度：「明日につながる！せん妄ケアⅠ」「明日につながる！せん妄ケアⅡ」「対応が難しい患者のこころの理解」

平成 25 年度：「明日につながる！せん妄ケアⅠ」「明日につながる！せん妄ケアⅡ」「精神状態をアセスメントしよう」「対応が難しい患者のこころの理解①不安を抱える患者」「対応が難しい患者のこころの理解②抑うつ状態にある患者」「対応が難しい患者のこころの理解③怒りの強い患者」「対応が難しい患者のこころの理解④眠れない患者」「精神領域の薬を知ろう」「リラクゼーション」

平成 26 年度：「明日につながる！せん妄ケアⅠ」「明日につながる！せん妄ケアⅡ」「精神状態をアセスメントしよう」「対応が難しい患者のこころの理解①不眠を生じている患者」「対応が難しい患者のこころの理解②不安・抑うつを抱える患者」「対応が難しい患者のこころの理解③怒り・拒否を呈する患者」「精神科領域の薬を知ろう」

●利用するアンケートの情報

アンケートに記載された内容のうち、「その他の感想・意見」の自由記載

[個人情報の取り扱い]

利用する情報に、ご所属、名前、経験年数など、個人を直接特定できる個人情報は含まれておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学看護学部 担当 異儀田はづき

電話 03-3357-4804（内線 66164） FAX 03-3341-8832

平成 27 年 7 月 24 日

看護師のみなさまへ

この度、下記の臨床研究を行いました。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 リエゾンナースへの看護師のメンタルヘルス相談の実態と課題
－看護師経験年数の比較からの検討－

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院

〔研究責任者〕 看護部 看護部長 坂本倫美

〔研究の目的〕 当施設において、リエゾンナースが行う看護師のメンタルヘルス相談の実態を明らかにし、今後の課題を検討するため

〔研究の方法〕

●対象

東京女子医科大学病院に勤務する看護師で、2014 年 4 月から 2015 年 3 月の間にリエゾンナースのメンタルヘルス相談に来訪した看護師

●利用する情報

リエゾンナースが独自に作成した、看護職のメンタルヘルス支援における共有の活動記録フォーマット

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院看護部 担当 安田妙子

電話 03-3353-8111（代表）内線 29103

平成 27 年 8 月 1 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 移植後の肝炎治療に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器内科

〔研究責任者〕 徳重 克年 東京女子医科大学 消化器内科 教授

〔研究の目的〕

肝・腎移植後では、C 型/B 型肝炎ウイルスの再感染、自己免疫性肝疾患、脂肪性肝炎などの肝炎が問題となる。肝炎治療および治療に伴う副作用を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 22 年 10 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に肝・腎移植治療を受けた方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、既往歴、家族歴、検査結果（血液尿検査、体成分分析、胸腹部レントゲン、超音波、CT、MRI の画像診断結果、上下部消化管内視鏡検査、手術所見、腹水検査、病理検査）。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 小木曾智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 8 月 4 日

**脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたは御家族の方へ（臨床研究に関する情報）**

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常の診療上の検査データを用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 小児頭部外傷における頭蓋内病変の診断：他覚的所見や画像所見を用いて

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター

【研究組織】 (◎ 研究責任者)

◎ 糟谷英俊	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	教授
笹原 篤	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	講師
萩原信司	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	助教
大淵英徳	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	助教

【研究の目的】

小児期に脳神経外科を受診する理由としては、頭部打撲が圧倒的に多いといえます。ほとんどは頭蓋内に出血などは認めませんが、まれに頭蓋内病変を認める重篤な場合があります。当院に受診された 0～11 か月の頭部外傷患者さんの、頭部レントゲン写真、頭部 CT、病歴・神経学的所見・他覚的所見等の情報をもとに、頭蓋内病変の有無にどのような因子が関与するのかを検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2006年1月1日から2013年9月30日までに東京女子医科大学東医療センター脳神経外科に、頭を打って受診された乳児

●利用する検査結果およびカルテ情報

検査結果：診療で必要と判断し行った X 線、CT 画像

カルテ情報： 診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、治療内容、治療効果、患者状態

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に検査結果を利用することを御了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問合せ先】

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 担当医師 大淵 英徳

電話 03-3810-1111 (6135) FAX 03-3819-8680

平成27年7月7日

救命ICU科に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 救命ICUにおける糖尿病患者の経管栄養の選択
- インスローとその他栄養剤の比較 -

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター

[研究責任者] 磯谷 栄二 救急医療科 医師

[研究の目的]
重傷症例の糖尿病患者さんの適切な経管栄養の選択の為

[研究の方法]
●対象となる患者さん
糖尿病（疾患名）の患者さんで、平成26年12月から平成27年6月の間に当院救命ICUに入院された方。
●利用するカルテ情報
診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、血液ガス検査）、薬剤情報

[個人情報の取り扱い]
利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]
東京都荒川区東尾久2-1-10
東京女子医科大学病院東医療センター 臨床栄養部 菅 智行
電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-1145

平成 27 年 7 月 23 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 不随意運動疾患の治療と予後に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 脳神経外科

〔研究責任者〕 平 孝臣 東京女子医科大学 脳神経外科 臨床教授

〔研究の目的〕 本態性振戦、ジストニア、パーキンソン病などの不随意運動疾患に関する各種因子（年齢、症状の種類、重症度、治療方法など）と予後（再発の有無や改善度、副作用など）がどのように関連しているかを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

不随意運動疾患の診断がついた患者さんで、1995 年 4 月 1 日から 2015 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、神経生理学的検査）、治療内容と治療時期

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 平 孝臣、堀澤士朗

電話 03-3353-8111(内線 28282)

FAX 03-5269-7398

平成 27 年 9 月 7 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎細胞がんに対するスーテント(sunitinib)投与において、腎機能障害のバイオマーカーとしての意義

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 泌尿器科 教授 田邊 一成

【研究の目的】

分子標的薬のスーテント(sunitinib)投与中の腎機能障害と抗腫瘍効果に相関があるか検討する。

●対象となる患者さん

転移性腎細胞がんの患者さんで、平成年 20 月 3 月から平成 26 年 9 月の間にスーテントの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）

②病理検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 福田 洋典
電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成●年●月●日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「潰瘍性大腸炎術後の Pouch 機能率の検討. 術後早期機能率、長期機能率、pouch failure の要因と治療」に関する多施設共同研究調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院第二外科

[研究責任者] 第二外科・教授・講座主任 岡本高宏

[研究の目的] 潰瘍性大腸炎では肛門温存手術が標準術式であるが、合併症により肛門機能が維持できず永久的人工肛門となる症例が存在する。多施設共同研究により合併症の頻度、特徴を明らかにし、術式選択の基準を作成する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肛門温存手術をおこなった潰瘍性大腸炎の患者さんで、2009 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に手術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、潰瘍性大腸炎の病状および治療歴 検査結果（血液検査）、手術記録、経過記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 小川真平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 27 年 6 月 3 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 先天性心疾患に合併する微細冠動脈瘻に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

〔研究の目的〕

先天性心疾患に合併する微細冠動脈瘻の合併頻度、原因および血行動態に与える影響を明らかにすること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

先天性心疾患を有する患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に当科でカテーテル検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、カテーテル検査時年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、カテーテル検査、心電図）、内服内容、手術時期、手術内容。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 森 浩輝

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 3 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 若年発症の不整脈原性右室心筋症における臨床像の後方視的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

[研究の目的]

若年発症する不整脈原性右室心筋症の臨床像を検討し、その予後を確認すると共に発症に寄与する因子を検討することで早期診断・早期治療の可能性を模索すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 2 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に当科を受診した不整脈原性右室心筋症の診断ないし疑いのある患者さんで、発症時 30 歳未満の方。

●利用するカルテ情報

診断名、カテーテル検査時年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、カテーテル検査、心電図）、内服内容、遺伝子検査結果。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 森 浩輝

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 8 月 24 日

神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去の診療情報等、既存のデータを用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 脳梗塞患者さんにおける血圧管理状況の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院神経内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学神経内科 教授・講座主任 北川一夫

〔研究の目的〕

脳梗塞患者さんにおける高血圧の治療の現状を調べる

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脳梗塞慢性期の患者さんで、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 30 日の間に高血圧の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、合併症（高血圧、脂質異常症、糖尿病）、検査結果（血圧値、eGFR）、処方された降圧薬、抗血小板薬、脂質異常症治療薬

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 宇野 洋美

電話 03-3353-8111・(内線 39232)・・・ FAX 03-5269-7324・・・

平成 27 年 9 月 1 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 フォンタン術後患者における心筋バイオマーカーの臨床的意義について

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

【研究の目的】

急性または慢性心不全の心筋バイオマーカーとして BNP や高感度トロポニン T が有用であることは明らかになっていますが、フォンタン術後患者の心不全重症度判定として心筋バイオマーカーが有用か否かは不明であります。フォンタン術後患者の心筋バイオマーカーとして BNP や高感度トロポニン T を測定し、その臨床的意義を検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012 年 1 月から 2015 年 5 月までに入院となった単心室形態でファンタン術後患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朝貝 省史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 9 月 1 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 フォンタン術後患者における中心静脈圧の臨床的意義について

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

【研究の目的】

フォンタン術後に中心静脈圧が高値になることは肝臓や腸管のうっ血を来し、術後の様々な合併症のリスクファクターとなります。フォンタン術後患者においてカテーテル検査で安静時と運動時の中心静脈圧を測定し、肝線維化や蛋白漏出性胃腸症、不整脈、心不全などのフォンタン術後合併症との相関性について検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1990 年 1 月から 2014 年 12 月までに単心室形態でフォンタン術後中遠隔期にカテーテル検査を行い、安静時や運動時の循環動態を測定した患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朝貝 省史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 29 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 妊娠・出産を行った Ebstein 奇形患者の予後

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

【研究の目的】 成人期まで無症状で経過した Ebstein 奇形症例における妊娠出産による血行動態への影響や分娩方法の選択について検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

Ebstein 奇形の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 2 日の間に当院で出産歴のある女性とその児

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学的検査）、手術内容、妊娠出産に関する情報：妊娠週数・分娩方法・周産期合併症、児に関する情報：出生体重・Apgar score。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 狩野 実希

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 7 月 30 日

新生児医学科に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 極低出生体重児における末梢中心静脈カテーテルの安全性と有効性の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院周産期センター母子総合医療センター新生児医学科

〔研究責任者〕 楠田 聡 母子総合医療センター新生児医学科 教授

〔研究の目的〕

極低出生体重児における末梢中心静脈カテーテル使用状況、合併症の有無を調査し、その安全性を確認することで今後の診療の向上につなげるため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

出生体重 1500g 未満で出生された患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学母子総合医療センターへ入院された患者さん

●利用するカルテ情報

母体情報、性別、在胎期間、出生体重、出生時状況、入院後経過、合併症、検査結果、治療内容、予後、退院後経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院母子総合医療センター新生児医学科 担当医師 中西 秀彦

電話 03-3353-8111・・・ FAX 03-5269-7668・・・

平成 27 年 8 月 17 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 小児潰瘍性大腸炎症例の外科治療及び長期経過に関する多施設共同研究調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第二外科

〔研究責任者〕 第二外科 教授・講座主任 岡本高宏

〔研究の目的〕本邦での小児潰瘍性大腸炎に対する手術成績を明らかにするため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎で 2014 年 12 月までに 17 歳未満で手術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

性別、発症年月日、初回手術日、初回手術時の年齢、身長、体重、診療記録、手術記録、術後経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 産形麻美子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 27 年 9 月 1 日

腎臓外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎移植におけるエベロリムスの投与量設定に関する薬物動態学的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院薬剤部

【研究責任者】 木村利美 東京女子医科大学病院 薬剤部 部長

【研究の目的】

腎移植におけるエベロリムスの投与量設定を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎移植後の患者さんで、平成 23 年 12 月 22 日から平成 27 年 3 月 31 日の間にエベロリムスでの治療および血中濃度測定を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①患者情報（年齢、性別、身長、体重、BSA、血液型、腎移植日、腎移植後経過年数、既往歴、原疾患、透析歴）
- ②治療内容（治療経過、拒絶反応の有無、免疫抑制療法、生体腎・献腎、有害事象）
- ③使用薬剤（処方歴、併用薬、用法用量）
- ④検査結果（Cr、BUN、eGFR、CCr、eCCr、ALT、AST、TP、Alb、ビリルビン、PT、PT-INR、赤血球、白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、好中球数、血小板数、尿タンパク、尿潜血）
- ⑤薬物血中濃度（エベロリムス、シクロスポリン、タクロリムス、ミコフェノール酸）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院薬剤部 薬剤師 外賀裕次郎

電話 03-3353-8112 FAX なし

平成 27 年 9 月 15 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]微小浸潤(2cm 以下)を伴う膵管内乳頭粘液性腫瘍の病期分類確立のための国際多施設共同研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科、消化器内科、統合医科学研究所;
Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School (USA); Verona University (Italy); Asan Medical Center (Korea)

[研究責任者] 古川徹 東京女子医科大学統合医科学研究所 教授

[研究の目的]

国際多施設共同で膵管内乳頭粘液性腫瘍症例の臨床病情報、予後データを統計学的に解析する事により国際的にコンセンサスを得られる微小浸潤(2cm 以下)を伴う膵管内乳頭粘液性腫瘍についての病期分類を確立する事を目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膵管内乳頭粘液性腫瘍の診断で平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に東京女子医科大学病院消化器外科で手術を受けた方

●利用するカルテ情報

性別、再発の有無、予後(月数)および確認日、腫瘍局在、手術術式、腫瘍肉眼型、組織亜型、腫瘍異型度、多発の有無、腫瘍進展度、浸潤癌組織型、脈管侵襲、神経周囲浸潤、切除断端、剥離面、膵上皮内腫瘍性病変の有無とグレード、浸潤径

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 27 年 6 月 25 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 弁膜症術後患者の遠隔予後に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

弁膜症術後患者の遠隔予後を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 55 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に、弁膜疾患に対する外科手術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 斎藤 聡

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 25 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 先天性心疾患術後患者の遠隔予後に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

先天性心疾患術後患者の遠隔予後を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 55 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に、先天性心疾患に対する外科手術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 坂本貴彦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 30 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 大動脈外科術後患者の早期および遠隔成績に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

大動脈外科手術後患者の遠隔予後を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 55 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に、大動脈病変に対する手術を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 富岡秀行

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 25 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 虚血性心疾患患者の早期および遠隔成績に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

冠動脈バイパス術後患者の遠隔予後を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 55 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に、虚血性疾患に対する外科手術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 富岡秀行

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 9 月 17 日

東京女子医科大学東医療センター
救命 I C U に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

- [研究課題名] 救命 N S T の取り組み
～急性期における排便コントロールについての検討～
- [研究機関] 東京女子医大東医療センター救急医療科
- [研究責任者] 磯谷 栄二 東京女子医科大学東医療センター救急医療科 教授
- [研究の目的] 栄養プロトコルの導入前後で栄養状態を比較検討し、プロトコルの有用性を確認すると共に、救命 N S T（栄養サポートチーム）の活動による栄養管理、排便コントロールに及ぼす影響を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日までに、東京女子医科大学東医療センター救命 I C U に入院し、経管経腸栄養を行った患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、重症度、使用した栄養剤の種類・量、検査結果（血液検査、画像検査）、消化器症状、排便状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子大東医療センター救命 I C U 原田志保

電話 03-3810-1111 FAX 03-3809-6525

平成 27 年 9 月 17 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 多発筋炎・皮膚筋炎患者保存血清における可溶性CD163値についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学リウマチ科、附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・所長・山中寿

[研究の目的] 多発筋炎・皮膚筋炎患者さんの血清中の可溶性 CD163 (註) の値を測定し、多発筋炎・皮膚筋炎の病態におけるマクロファージ (白血球の 1 種) の働きについて検討することを目的とします。

(註) CD163 は末梢血中のマクロファージで発現する膜タンパク質で、炎症反応でマクロファージが活性化すると、刺激により切断されて可溶型となります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

多発筋炎・皮膚筋炎の患者さんで、平成 16 年 4 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日の間に膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、罹病期間、疾患名、手術名、診察所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査、筋生検病理検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 川澄 日出長

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1726

平成 27 年 9 月 10 日

血液浄化療法科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 血液透析患者における ankle-brachial blood pressure index (ABI) の変化と生命予後の関連

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液浄化療法科

【研究責任者】 血液浄化療法科 教授 秋葉 隆

【研究の目的】 ABI 測定値の臨床的意義および ABI の変化を予見する因子の検討

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 17 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日までに東京女子医科大学病院で外来維持透析を受けた患者さんのうち、平成 17 年および平成 23 年に脈波検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、透析歴、腎不全の原疾患、高血圧、糖尿病の合併の有無、血液検査結果（アルブミン、クレアチニン、尿酸、カルシウム、リン、総コレステロール、中性脂肪、CRP、ヘモグロビン）、脈波検査の結果、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液浄化療法科 担当医師 木全 直樹

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 8 月 11 日

ワルファリン療法で通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 ワルファリンの出血性イベントに関する腎機能を含むリスク因子解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院薬剤部

〔研究責任者〕 木村 利美 東京女子医科大学 薬剤部 職名（部長）

〔研究の目的〕

腎臓が悪い患者でワルファリン療法を行った場合、腎機能が正常の患者と比べて入院を必要とする出血発症率と出血に関わる要因を調査する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2014 年 7 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間にワルファリンを内服した方。

●利用するカルテ情報

基本情報（年齢、性別、身長、体重、BMI）、併用薬剤（ワルファリンの効果に影響する薬）、臨床検査値（Hb、Plt、ALT、AST、血清 Cr、eGFR、PT-INR、APTT）、基礎疾患（糖尿病、血液透析、腎移植）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院薬剤部 担当薬剤師 平井利典

電話 03-3353-8112 FAX 36031

平成 27 年 9 月 24 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 股関節障害を有する患者における保存的ならびに手術的治療成績不良因子の後ろ向き研究

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

[研究責任者] 桃原茂樹、膠原病リウマチ痛風センター、教授

[研究の目的] 股関節障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 2 年 4 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に股関節障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 矢野紘一郎

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 27 年 9 月 17 日

東京女子医科大学東医療センター内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院で加療した虚血性腸炎患者の臨床的検討

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター内科

【研究責任者】 佐倉宏、東京女子医科大学東医療センター内科、教授

【研究の目的】

虚血性腸炎の原因や治療方法を調査するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

虚血性腸炎の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に当院で治療や検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡所見）、治療方法、治療期間。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター内科

担当医師 入村峰世

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-0282

平成 27 年 8 月末日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 十二指腸乳頭部周囲癌に関する疫学的研究—日韓米共同研究—
Epidemiological population study of perampullary cancers

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 韓国、日本と米国でperampullary cancersの疫学的な発生率、ステージ分布と相違の調査

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1980 年 1 月 1 日以後に東京女子医科大学 消化器外科にて治療的手術を受けた perampullary cancer の患者さん

●利用するカルテ情報

施設、人種、年齢、性別、手術日、手術、退院日、体重減少、手術所見、術式、血管合併切除、出血量(ml)、輸血量(unit)、手術時間、根治度、病理所見、病理学的根治度、腫瘍径、分化度、腫瘍進展度 TN M、転移部位、郭清リンパ節数、転移リンパ節数、Lymph node ratio、AJCC 7th stage、術後合併症、膵液瘻 (ISGPF 分類)、胃排泄遅延 (ISGPS 分類)、創感染、仮性動脈瘤、術後データ、術後在院日数、再発部位、再発部位、生存期間、死亡

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111（内線 25116） FAX 03-5269-7507

平成 27 年 9 月 11 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における赤痢アメーバ検査の動向

【研究機関】 東京女子医科大学病院中央検査部

【研究責任者】 川島 眞 東京女子医科大学 中央検査部

【研究の目的】 赤痢アメーバ検査を提出された時の年齢や性別、検査結果を集計して
これからこの検査をおこなおうとする時の参考になる情報が得られるかを
調べます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2002 年 8 月 1 日から 2012 年 7 月 31 日の間で赤痢アメーバ検査の依頼があった方

●利用するカルテ情報

- ①年齢・性別
- ②赤痢アメーバ検査結果
- ③感染症検査結果
- ④血液・生化学検査結果（治療前後）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 磯田 典子

電話 03-3353-8112（内 21059）

平成 27 年 8 月 20 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 理髪師ジストニアに対する定位的視床凝固術の効果

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 脳神経外科 臨床教授 平 孝臣

〔研究の目的〕

理髪師ジストニアに対する定位的視床凝固術の効果を検証するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

理髪師の患者さんで、平成 20 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に定位的視床凝固術の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、手術記録

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 脳神経外科

担当医師 堀澤 士朗

電話 03-3353-8111

平成 27 年 9 月 24 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 両手音楽家ジストニアに対する両側定位的視床凝固術の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 脳神経外科 臨床教授 平 孝臣

〔研究の目的〕

両手音楽家ジストニアに対する両側定位的視床凝固術の効果を検証するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

両手音楽家ジストニアの患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に定位的視床凝固術の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、手術記録など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 脳神経外科

担当医師 堀澤 士朗

電話 03-3353-8111

平成 27 年 9 月 24 日

東京女子医大糖尿病内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 インスリン療法にてコントロール不良の 2 型糖尿病患者に対する持効型溶解インスリンとリキシセナチド併用療法の有用性と効果に影響を与える因子の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第三内科

〔研究責任者〕

◎ 内潟 安子 東京女子医科大学第三内科学・教授・講座主任

〔研究の目的〕

持効型溶解インスリンと GLP-1 受容体作動薬の併用療法はインスリン強化療法と比較し注射回数の減少、体重増加をきたすことなく良好な血糖コントロールが達成できることが海外から報告されていますが、本邦での実臨床における報告は少なく、インスリン療法にて血糖コントロール不良の 2 型糖尿病患者を対象に、持効型溶解インスリンとリキシセナチドの併用療法に変更した際の有用性と効果に影響を与える因子を検討いたします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2 型糖尿病の患者さんで、平成 26 年 2 月から平成 27 年 1 月の間にインスリン加療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、罹病期間、来院時身長、体重、前治療の内容、リキシセナチド開始前後の検査結果と自己測定血糖値、リキシセナチド非投与の場合も同観察時期の検査結果と自己測定血糖値、リキシセナチド開始前後の症状変化

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第三内科 担当医師 伊藤 新

電話 03-3353-8111

本院患者さんへの情報公開用文書

「悪性肝門部胆管閉塞に対する術前内視鏡的あるいは経皮的胆道ドレナージの安全性と有用性を検討する多施設共同後ろ向き研究」についてのご説明

研究の目的

悪性肝門部胆管閉塞(癌による胆管閉塞で肝門部の胆汁流出が障害されている状態)に対する術前胆管ドレナージ術の各種方法の安全性と有効性を検討します。

対象となる患者さん

2010 年 1 月から 2014 年 12 月までに当科で胆道癌(肝内/肝外胆管癌・胆嚢癌・胆嚢管癌)による悪性肝門部胆管閉塞に対して術前胆道ドレナージを行い、その後当施設もしくは他院で外科的切除を行った、または企図された方が対象です。

研究内容と方法

胆道癌(肝内/肝外胆管癌・胆嚢癌・胆嚢管癌)により肝門部の胆管閉塞を来している患者さんは、術前に胆道ドレナージを行って黄疸を減ずる必要があります。しかしながら、内視鏡・経皮的ドレナージ、片葉・両葉、外瘻・内瘻などの様々なアプローチがあり、どのアプローチが術前に最も効率的な減黄効果を得られるかは、はっきりとしたコンセンサスが得られていません。各々の術前ドレナージ法を多数例で検討することにより、本邦における悪性肝門部胆管閉塞に対する術前ドレナージの安全性と有用性を評価します。

この研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。当院を含む国内の多施設で共同研究を行っており、当院及び参加施設の倫理委員会で承認されています。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。そのため、特に患者さんに新たにご負担頂くことはありませんが、謝金もありません。

研究期間

倫理委員会承認後から平成 30 年 02 月 19 日まで。

患者さんの個人情報の管理について

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの人体試料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行います。

患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の処置について

この研究のためにご自分のデータを使用して欲しくない場合は主治医にお伝え頂くか、下記の研究事務局まで平成 27 年 10 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡を頂かなかった場合、ご了承頂いたものとさせていただきます。

研究結果の公表

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報明らかにしないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上等で公表します。また御希望があれば研究データを統計データとしてまとめたものを開示致します。

主任研究施設名

研究統括医師：東京大学医学部附属病院 消化器内科
准教授：伊佐山 浩通

問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学病院 消化器内科
高山敬子
電話：03-3353-8111（代表）

平成 27 年 7 月 21 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 血清 N-結合型糖鎖の質量解析による
抗体関連拒絶反応予知因子の探索

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 泌尿器科 教授 田邊 一成

【研究の目的】

移植腎拒絶反応を血液検査で的確に診断可能な方法を開発する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎移植後の患者さんで、2008 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に、当院の共同研究施設である余丁町クリニックにて、研究用の血液・尿の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、尿（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別（ドナーおよびレシピエント）、ABO 血液型情報、治療内容、移植腎生検の結果、血液・画像検査情報（特に血清クレアチニン値）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 平井 敏仁

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7622

平成 27 年 8 月 10 日

循環器内科、循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心内修復術を施行した成人心室中隔欠損症患者さんにおける大動脈基部拡大発症の予測因子についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 循環器内科、循環器小児科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 循環器内科 教授・講座主任 萩原 誠久

〔研究の目的〕 心室中隔欠損症に対する心内修復術後の大動脈基部拡大に関連する予測因子について検討することを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心室中隔欠損症に対する心内修復術後の患者さんで、平成 21 年 1 月から平成 25 年 12 月の間に当院で経胸壁心臓超音波検査を受けた方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、身体所見、既往歴、内服歴、喫煙歴、手術記録、検査所見（心電図、心臓超音波検査、画像検査（CT、MRI、心筋シンチ、心臓カテーテル））

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科

電話 03-3353-8111 (28380)

担当医師 齋藤 千紘

FAX 03-3356-0441

平成 27 年 10 月 1 日

東京女子医科大学東医療センター救急医療科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 譫妄に対するラメルテオン・抑肝散内服の有用性の検証

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター救急医療科

[研究責任者] 磯谷栄二：東京女子医科大学東医療センター救急医療科 教授

[研究の目的]

譫妄に対するラメルテオン・抑肝散内服の有用性を検証する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 27 年 5 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日の間に、3 日以上当科に入院されたすべての患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、既往歴、年齢、性別、挿管の有無、呼吸器使用の有無、点滴薬剤、採血データ、血液ガスデータ、内服薬剤、ICDSC 評価値

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京女子医科大学東医療センター看護部救命 ICU 看護師 齊藤 麻名

電話 03-3810 - 1111 内線 7111 FAX 03-3809 - 6525

Email saito_mana@outlook.jp

平成 27 年 10 月 1 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 大血管転位、心室中隔欠損、肺動脈狭窄、三尖弁腱索位置異常に対する漏斗部心室中隔フラップ法の遠隔期成績

【研究機関】 東京女子医科大学病院心臓血管外科

【研究責任者】 東京女子医科大学病院心臓血管外科 教授 山崎 健二

【研究の目的】 左室流出路狭窄を伴う完全大血管転位症を心内修復する際に、左室一大動脈心内導管を作製しなければなりません。症例によって、三尖弁を支持する腱索、乳頭筋が、円錐部中隔に迷入している症例があります。このような症例においては、通常の方法では左室一大動脈心内導管を作製できないため、異常迷入している腱索、乳頭筋を含めた円錐部中隔を一部切除し、フラップ状にして、左室一大動脈心内導管を作製する方法が取られます。本研究では、この術式の、遠隔期の三尖弁機能、左室一大動脈心内導管の狭小化の有無を検討し、また、遠隔期生存曲線、再手術回避率などを合わせて後方視的に比較検討いたします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

大血管転位、心室中隔欠損、肺動脈狭窄、三尖弁腱索位置異常を伴う患者さんで、1985年1月1日から1999年12月31日の間に漏斗部心室中隔フラップ法を用いて心内修復術を受けられた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢
- ②性別
- ③診断名
- ④手術術式
- ⑤追跡期間
- ⑥生存の有無
- ⑦再手術の有無
- ⑧心電図
- ⑨ホルター心電図
- ⑩心臓カテーテル検査
- ⑪心臓超音波検査
- ⑫血液検査結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 心臓血管外科 担当医師 山崎 健二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 9 月 30 日

内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「当院における甲状腺乳頭癌非根治手術の治療成績についての検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院内分泌外科

【研究責任者】 岡本 高宏 東京女子医科大学 第二外科 職名（教授・講座主任）

【研究の目的】 甲状腺乳頭癌非根治手術の治療成績を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1981 年 4 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日の間に甲状腺乳頭癌のため、初めて手術を
うけた患者さん

●利用するカルテ情報

手術時年齢

- 1 性別
- 2 病理組織型
- 3 腫瘍占拠部位
- 4 病変数
- 5 臨床的リンパ節転移の有無
- 6 手術日
- 7 術式
- 8 最大腫瘍径
- 9 リンパ節転移数
- 10 手術根治性
- 11 合併切除臓器
- 12 術後TNM分類・病期
- 13 Ex（甲状腺外への癌の浸潤の有無）
- 14 術後合併症
- 15 病理診断
- 16 2014年12月31日時点での転帰
- 17 最終追跡日
- 18 術後再発の部位
- 19 死因

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院内分泌外科 担当医師 尾身 葉子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341